

史料群番号 42

史料群名	すずきゆうじ 鈴木祐司家文書	旧所蔵者	鈴木祐司
探訪時住所	千葉県安房郡太海村浜波太		
現在の住所	千葉県鴨川市太海浜		
探訪年月	昭和24（1949）年12月		
史料の年代	正徳2（1712）年～明治9（1876）年	史料の 総点数	34点
年代の内訳	近世 29点/近代 5点	筆写稿本	あり
既刊行目録	「1950年3月 漁業制度資料目録 第1集 全国篇Ⅰ 日本常民文化研究所・水産庁資料整備委員会」「平成十七年水産総合研究センター所蔵古文書目録-千葉県（房総半島沿岸地域）関係史料- 水産総合研究センター・神奈川大学日本常民文化研究所」		

収蔵にいたる経緯

「漁業制度資料目録 第1集」に本史料群が掲載されており、寄贈と記されている。ただし、文政元年8月「（負担者金主方打毀一件訴訟書）」は、現在の鈴木祐司家文書に含まれていない。これは、鴨川関係の史料ではなく、おそらく別史料群のものを誤って掲載したものと思われる。それ以外の史料は、「漁業制度資料目録」と現在中央水産研究所に収蔵される史料とは一致し、史料の散逸、移動は生じていないと考えられる。

史料群の概要

探訪地の鴨川町については、「鴨川町文書」の「史料群の概要」参照。
史料の大半は近世のもので、いずれも村方文書である。鈴木家が名主を勤めていた記録はなく、鈴木家にこれらの史料が残されていた理由は、旧所有者鈴木祐司氏が村の文書を収集していたことによる。鈴木祐司氏は浜波太漁業組合の理事を勤め、太海（ふとみ）村の村長にもなっている。

史料は、近世の安房国長狭郡浜波太（はまなぶと）村の村政に関するもので、難船・破船にともなう荷物・水死体の引き取りに関する証文が大半を占める。

なお、本史料群の詳細については「水産総合研究センター所蔵古文書目録」を参照していただきたい。

